

かまたは本気度が違う。



立憲民主党公認

かまたさとし

挑戦者

みんなの声を、まっすぐ国政へ。

■ 熊本のために、26年。今、次のステージへ。

私はこれまで 26 年間、熊本県議会議員として「フェアな政治で活気ある熊本を！」「多様性を認め合う県政を！」という信念のもと、県民の皆さまの暮らしに寄り添い、現場の声を政治に届けてまいりました。

自民党が多数を占める県議会の中で、皆さまの代弁者として、ひたすら声を上げ続けてきた——その姿勢は、これまでも、これからも変わりません。

■ 熊本の「水」と「食」を、次世代へ。

半導体関連企業の進出は、熊本に新たな活力をもたらしています。一方で、地下水の減少や有害物質(PFAS)による環境・健康への影響も懸念されています。

私は、**水質基準の強化と持続可能な水資源保全**に取り組み、未来の子どもたちに熊本の宝を引き継ぎます。

また、農業の再生も喫緊の課題です。農地の減少、担い手不足、価格低迷——これらに対応するため、私は、**「食農支払制度」**の創設を提案します。農業者一人ひとりに確かな支援を届け、新規就農者への支援も拡充します。

■ 今こそ、政治を変える時。

熊本から、国政に声を届ける野党議員が不在の今、まさに変革の時です。私は、これまで 26 年間、県民の皆さまの暮らしを第一に考え、政策を一貫して実行してきました。

「暮らし」「水と食の安全」「平和な社会」

この三つの柱を掲げ、全身全霊で取り組んでまいります。私は毎月 300 キロを走る体力と行動力で、一人ひとりの声を丁寧に聞き、まっすぐに国政へ届けてまいります。

■ このままの熊本で、本当にいいのでしょうか？

現在、熊本県選出の国会議員はすべて自民党です。しかし、それが県民全体の思いを反映しているとは言い切れません。

社会は今、深刻な課題に直面しています。物価高、格差拡大、子育てや医療、農業の危機、そして軍拡への懸念……。いま求められているのは、多様な声を届ける“野党のチカラ”です。

■ 生活を守る政治を、いまこそ。

急激な物価上昇が、家計を直撃しています。

私は、**食料品への消費税の撤廃や、ガソリンへの暫定税率の廃止**を通じて、生活負担の軽減を目指します。暮らしの安全保障を政治の最優先に据え、誰もが安心して生活できる社会をつくります。

■ 熊本を“軍事拠点”にしないために。

台湾有事を念頭に、熊本における自衛隊基地のシェルター化や長距離ミサイル配備といった構想が進められようとしています。

しかし、県民の多くは「平和で暮らしたい」「防衛費のさらなる増加は避けたい」「増税は困る」といった切実な声を上げています。私は、こうした声に正面から応え、**平和と暮らしを守る政治**を実現します。

■ みんなの力で、熊本を変える。

どうか、**かまたさとし**に、あなたの大切な一票をお託しください。ともに、希望ある未来を切り拓いていきましょう。

立憲民主党



PROFILE

- 1965 年(昭和 40 年)1 月 2 日 熊本市生まれ
- 熊本市立力合小学校・城南中学校・熊本西高等学校 卒業
- 1983 年 電電公社(現 NTT)入社
- 1999 年 熊本県議会議員 初当選(7 期連続当選)

